

蕨市

Autumn Gallery 2023

# ガラス

## 作家 二人展

Hayashi Ayaka & Sato Narihisa



佐藤 成久 / 鈴木屋材木店にて [2023]

林 彩加 / 天の川をゆく舟 [2021]

会期

2023

入場無料

# 10.14.SAT ~ 12.24.SUN

蕨市立歴史民俗資料館

埼玉県蕨市中央5-17-22

Tel 048 (432) 2477

開館時間 ▶ 9:00~16:30

休館日 ▶ 月曜日



同時開催

「水彩とガラスの世界展」



林 彩加



林 くみこ



### ガラス作家 林彩加 [Hayashi Ayaka]

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科ガラス専攻卒業。

2013年、「ガラス教育機関合同作品展」〈東京都美術館〉に出展。2018年、「林彩加初個展～光の生まれるところ～」〈アートギャラリー絵の具箱（吉祥寺）〉を開催。

同年以降、「中央線の旅」〈伊勢丹立川店〉や「Glass Gallery SUMITO グループ展」〈茨城県笠間市〉など、多くのグループ展に出展。2019～22年には、ジュエリー作家などとの「二人展」〈新宿高島屋〉を開催した他、「コロロ硝子個展 色なき風」〈ranbu（大阪）2020年〉や「とある冬の澄んだ日」〈GALLERY RUEVENT（目白）2022年〉など、各地で個展を開催している。

2020年、蕨市内に自身の制作工房 & gallery「ちいさな硝子工房」をOPEN。

翌年から同工房にて、母で水彩画家の林くみこ氏と「二人展」を毎年開催。また、多くのハンドメイド作家が集まるイベント「蕨マルシェ」にも出展するなど、ガラスの魅力を発信し続けている。埼玉県蕨市在住。



漂流瓶の記憶(2022)



最果てのまち(2022)



### ガラス作家 佐藤成久 [Sato Naruhisa]

2002年、起業を模索し、21年間のサラリーマン生活に終止符を打つ。この頃、偶然巡り合ったサンドブラスト・ガラス彫刻の技法に強く惹かれ、2003年、蕨市に「サンドブラスト工房・アルケミィ」を開業。2012年には「株式会社ブラスト工房」を設立。2016年、幕末から明治期にかけて活躍した狩野派絵師・河鍋暁斎<sup>かわなべきょうさい</sup>の作品をモチーフにしたロックグラスが蕨ブランドに

認定された他、翌年には自社ブランド「蕨硝子」を商標登録。

2015年、第47回「蕨市公募美術展覧会」で蕨市教育委員会教育長賞を受賞。

2022～23年、「埼玉県美術展覧会」工芸部門入選。また、「デザインフェスタ」や「アート&クラフト市at TOKYO SQUARE GARDEN」など、多くのイベントに出展している。

埼玉県蕨市在住。



犬花瓶01(2023)



猫花瓶01(2023)



### 水彩画家 林くみこ [Hayashi Kumiko]

薬剤師として30年以上勤務し、2019年に退職後、おのれしよ<sup>おのれしよ</sup>己書（筆ペンアート）を習い始める。2021年には師範の資格を取得、現在は自宅で講座を開講している。

また、同年、独学で水彩画を描き始め、2021年より、長女でガラス作家の林彩加氏と「二人展」を

毎年開催。その他、「蕨マルシェ」や多くのグループ展に出展している。東京都小平市在住。



月あかり(2023)



海底灯台(2023)